

＼ 本資料の解説動画を公開しています ／

「令和6年度診療報酬改定_栄養管理体制について」の動画を見る

<https://vimeo.com/939369904/d5424c8f41?share=copy>

【内容】

- ・ 令和6年度診療報酬改定における栄養管理体制のポイント
- ・ GLIM基準を活用した場合の栄養管理手順の流れ
- ・ 関連した厚生労働省疑義解釈の紹介

令和6年度診療報酬改定
栄養管理体制について
【栄養管理手順の解説】



公益社団法人
日本栄養士会

栄養管理体制の基準の明確化（入院料通則の改定①）

栄養管理体制の基準の明確化

- 退院後の生活を見据え、入院患者の栄養管理体制の充実を図る観点から、栄養管理体制の基準を明確化する。

現行

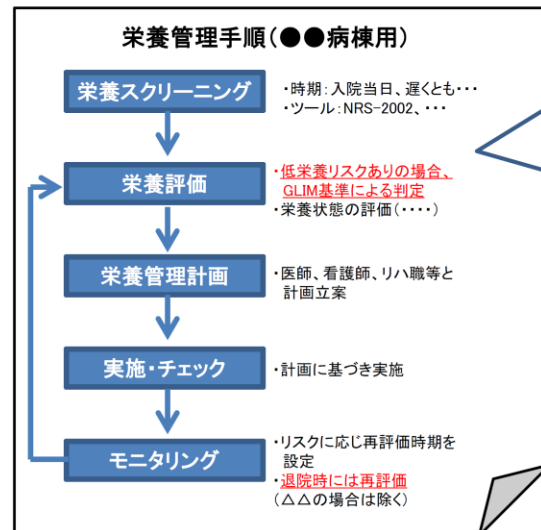
【入院基本料等の施設基準等】

5 栄養管理体制の基準

- (1) (略)
- (2) 管理栄養士をはじめとして、医師、看護師、その他医療従事者が共同して栄養管理を行う体制を整備し、あらかじめ栄養管理手順（栄養スクリーニングを含む栄養状態の評価、栄養管理計画、定期的な評価等）を作成すること。
- (3)～(9) (略)

イメージ

各医療機関の機能や患者特性等に応じて栄養管理手順に位置づける



GLIM基準を活用することが望ましいが、GLIM基準を参考にしつつ、各医療機関の機能や患者特性等に応じて、標準的な手法を位置づけていけば差し支えない。

改定後

【入院基本料等の施設基準等】

5 栄養管理体制の基準

- (1) (略)
- (2) 管理栄養士をはじめとして、医師、看護師、その他医療従事者が共同して栄養管理を行う体制を整備し、あらかじめ栄養管理手順（**標準的な**栄養スクリーニングを含む栄養状態の評価、栄養管理計画、**退院時を含む**定期的な評価等）を作成すること。
- (3)～(9) (略)

<参考> GLIM(Global Leadership Initiative on Malnutrition)基準

2018年に世界の栄養学会（ESPEN:欧州, ASPEN:北米, PENSA:アジア, FELANPE:南米）が低栄養の診断基準としてGLIM基準を策定

●栄養スクリーニング

- ・全ての対象者に対して栄養スクリーニングを実施し、低栄養リスクのある症例を特定
- ・検証済みのスクリーニングツール（例：MUST、NRS-2002、MNA-SFなど）を使用

低栄養リスクあり

●低栄養診断

表現型基準（フェノタイプ基準）			病因基準（エチオロギー基準）	
意図しない体重減少	低BMI	筋肉量減少	食事摂取量減少、 消化吸収能低下	疾病負荷／炎症
それぞれの項目で1つ以上に該当			それぞれの項目で1つ以上に該当	

低栄養と判定

重症度判定（中等度低栄養、重度低栄養）

※詳細は、日本臨床栄養代謝学会（JSPEN）HP「GLIM基準について」を参照



- 各医療機関においてGLIM基準をどの様に活用すべき？

GLIM基準の使用手順

リスク(栄養)スクリーニング

※ MUST・NRS-2002・MNA-SF etc

アセスメント

※ 表現型 / 病因 の2つを組み合わせで診断

表現型

病 因

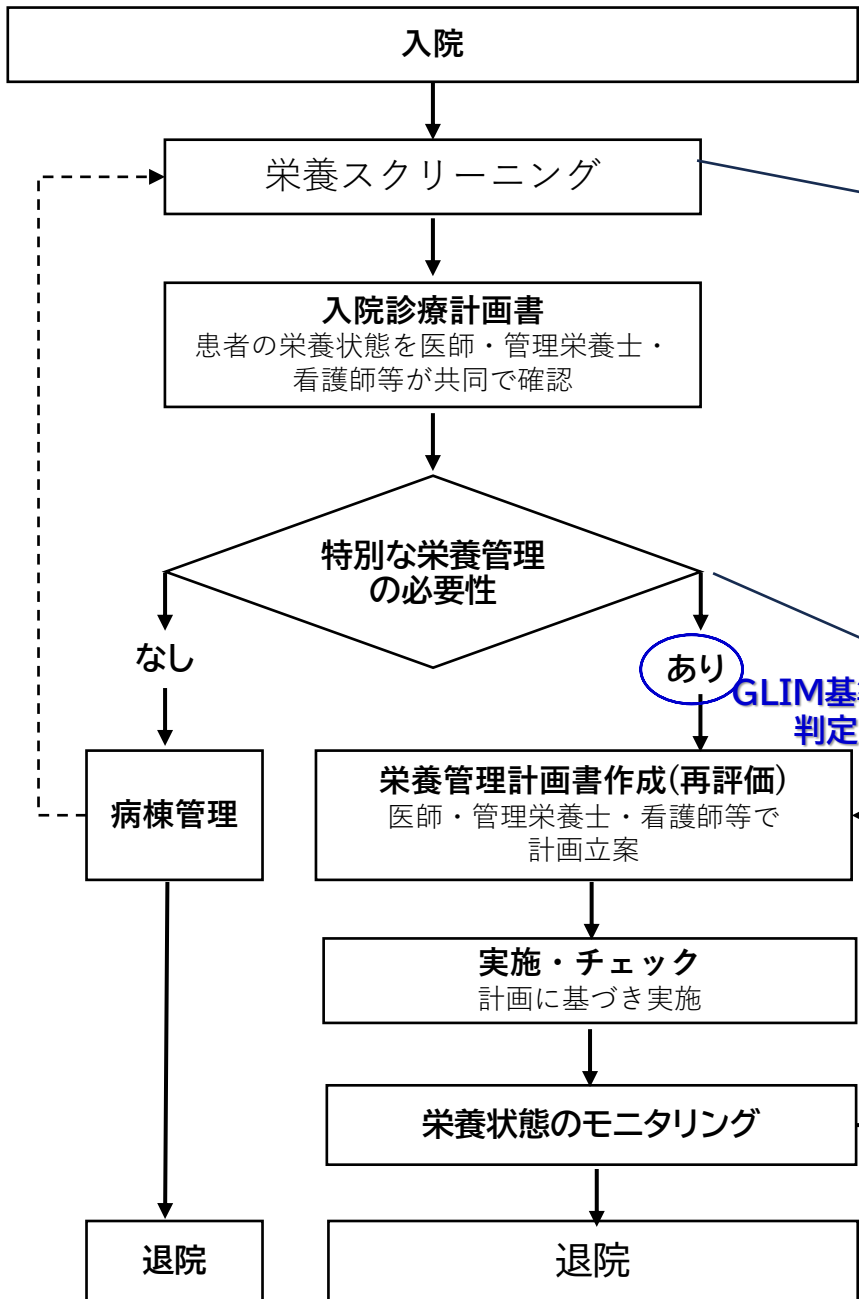
GLIM基準で評価するためには
リスク(栄養)スクリーニングが不可欠

重症度判定(中等度・重度)

低栄養

※ 体重減少・BMI・筋肉量

栄養管理体制の基準(現行)



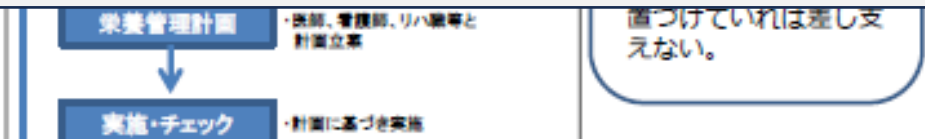
- GLIM基準を活用する場合、信頼性と妥当性がある栄養スクリーニングツールを用いることが推奨されます(MUST、NRS-2002、MNA[®]-SF、MST、PG-SGA-SF、SNAQ等)。
- 詳しくは「日本栄養治療学会(JSPEN)ホームページが示すGLIM基準に関する情報」などもご参照ください。

注意

SGAは栄養アセスメントツールであり、栄養スクリーニングツールとして用いることは推奨されません。

(3)~(9) (略)

- 上記、いずれかの栄養スクリーニングツールを用いて「低栄養リスクあり」等と評価された場合、「特別な栄養管理の必要性」が「あり」へと進みます。
- 次に、GLIM基準での判定結果を踏まえ、これまでの栄養管理手順の通り、栄養管理計画書を作成していきます。
- その後の流れはこれまでと同じです。栄養管理計画に基づき、実施、チェックを行い、リスクに応じて再評価時期を設定し、栄養状態のモニタリングそして再評価と続いていきます。

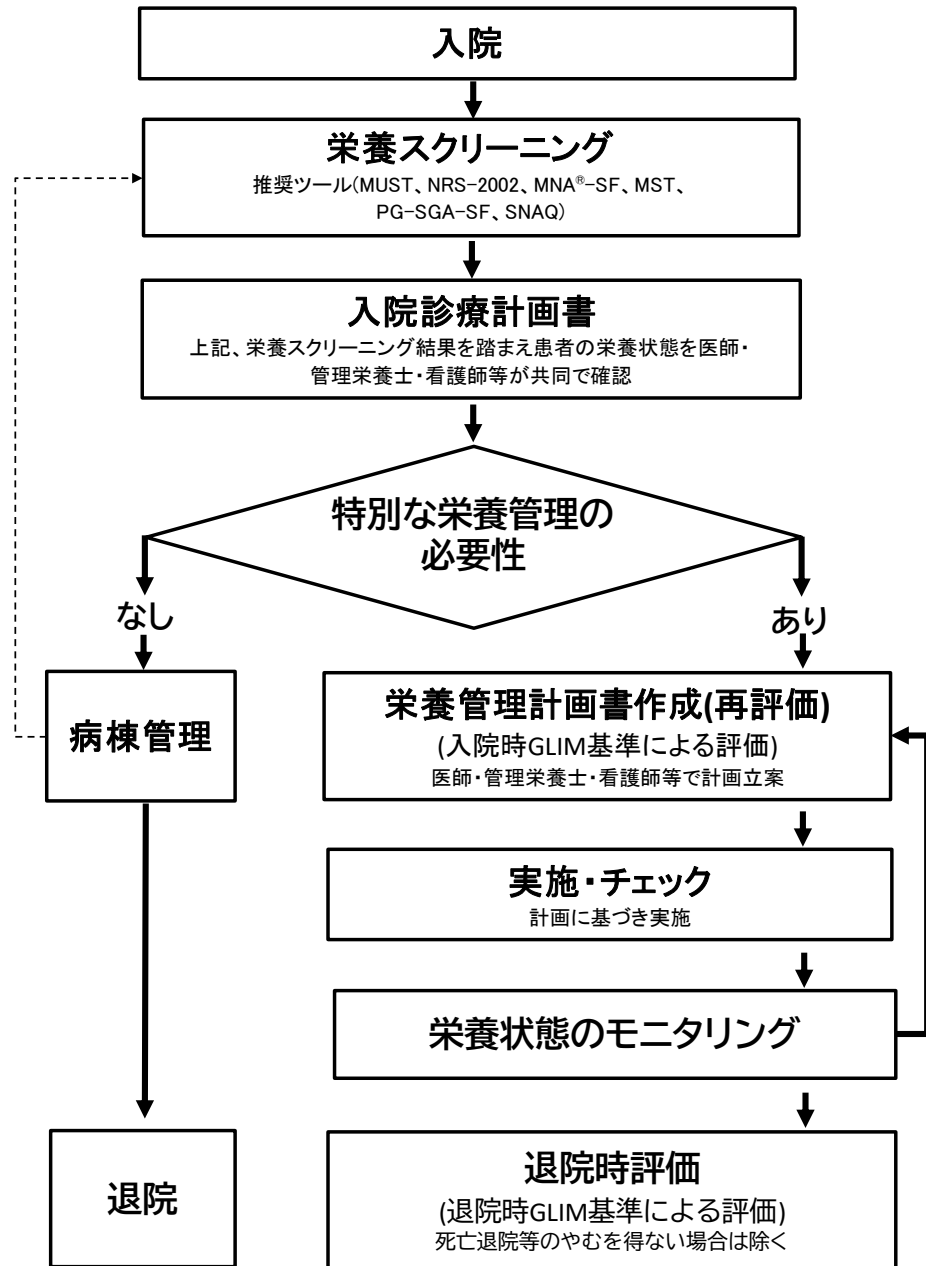


- 退院時には再評価を行います。ただし、疑義解釈の問24にも記載されていますが、必ずしも全ての患者について退院時の評価を行う必要はないが、各医療機関の機能や患者特性等に応じて、どの様な患者や状況の場合に退院時の評価を行うかなどを栄養管理手順に位置付けておくことが大切です。

【GLIM基準を活用した栄養管理手順例】

本様式はあくまで参考例であり、様式を指定するものではありません。

独自に様式がある場合を含め、施設に応じて作成ください。(公社)日本栄養士会医療職域



【褥瘡対策事項およびGLIM基準による評価を組み入れた記載例】

本様式はあくまで参考例であり、様式を指定するものではありません。

独自に様式がある場合を含め、施設に応じて作成ください。(公社)日本栄養士会医療職域

栄養管理計画書																																										
計画作成日 _____																																										
フリガナ																																										
氏 名 _____	殿 (男・女)	病 棟 _____																																								
年 月 日生(歳)		担 当 医 師 名 _____																																								
入院日: _____		担当管理栄養士名 _____																																								
入院時栄養状態に関するリスク																																										
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">栄養状態の評価と課題</td> </tr> <tr> <td>体重 kg(測定日 /)</td> <td>BMI kg/m²</td> </tr> <tr> <td colspan="2">浮腫(□無・□有(□胸水・□腹水・□下肢)・□不明)</td> </tr> <tr> <td>Alb値 g/dl(測定日 /)</td> <td>Hb値 g/dl(測定日 /)</td> </tr> <tr> <td>□ 測定無し</td> <td>□ 測定無し</td> </tr> <tr> <td colspan="2">【GLIM基準による評価 (□ 非対応)※】 判 定: □ 低栄養非該当 □ 低栄養(□ 中等度低栄養、□ 重度低栄養)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">表現型(□ 体重減少 □ 低BMI □ 筋肉量減少)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">病因(□ 食事摂取量減少 / 消化吸収能低下 □ 疾病負荷 / 炎症)</td> </tr> </table>			栄養状態の評価と課題		体重 kg(測定日 /)	BMI kg/m ²	浮腫(□無・□有(□胸水・□腹水・□下肢)・□不明)		Alb値 g/dl(測定日 /)	Hb値 g/dl(測定日 /)	□ 測定無し	□ 測定無し	【GLIM基準による評価 (□ 非対応)※】 判 定: □ 低栄養非該当 □ 低栄養(□ 中等度低栄養、□ 重度低栄養)		表現型(□ 体重減少 □ 低BMI □ 筋肉量減少)		病因(□ 食事摂取量減少 / 消化吸収能低下 □ 疾病負荷 / 炎症)																									
栄養状態の評価と課題																																										
体重 kg(測定日 /)	BMI kg/m ²																																									
浮腫(□無・□有(□胸水・□腹水・□下肢)・□不明)																																										
Alb値 g/dl(測定日 /)	Hb値 g/dl(測定日 /)																																									
□ 測定無し	□ 測定無し																																									
【GLIM基準による評価 (□ 非対応)※】 判 定: □ 低栄養非該当 □ 低栄養(□ 中等度低栄養、□ 重度低栄養)																																										
表現型(□ 体重減少 □ 低BMI □ 筋肉量減少)																																										
病因(□ 食事摂取量減少 / 消化吸収能低下 □ 疾病負荷 / 炎症)																																										
※GLIM基準による評価を行なっている場合は、記載すること。行っていない場合は、非対応にチェックすること。																																										
栄養管理計画																																										
目標																																										
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">栄養補給に関する事項</td> </tr> <tr> <td colspan="2">栄養補給方法 □ 経口・□ 経腸(□ 経口・□ 経鼻・□ 胃瘻・□ 腸瘻)・□ 静脈</td> </tr> <tr> <td>栄養補給量</td> <td>嚥下調整食の必要性</td> </tr> <tr> <td>・エネルギー kcal</td> <td>□ なし □ あり(学会分類コード:)</td> </tr> <tr> <td>・たんぱく質 g</td> <td>食事内容</td> </tr> <tr> <td>・水分 ml</td> <td>留意事項</td> </tr> <tr> <td colspan="2">栄養補助食品の使用</td> </tr> <tr> <td colspan="2">□ 無・□ 有()</td> </tr> <tr> <td colspan="2">栄養食事相談に関する事項</td> </tr> <tr> <td>入院時栄養食事指導の必要性</td> <td>□ なし □ あり(内容</td> </tr> <tr> <td>実施予定日:</td> <td>月 日</td> </tr> <tr> <td>栄養食事相談の必要性</td> <td>□ なし □ あり(内容</td> </tr> <tr> <td>実施予定日:</td> <td>月 日</td> </tr> <tr> <td>退院時の指導の必要性</td> <td>□ なし □ あり(内容</td> </tr> <tr> <td>実施予定日:</td> <td>月 日</td> </tr> <tr> <td colspan="2">値 者</td> </tr> <tr> <td colspan="2">その他栄養管理上解決すべき課題に関する事項</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <table border="1"> <tr> <td>栄養状態の再評価の時期</td> <td>実施予定日: 月 日</td> </tr> <tr> <td colspan="2">退院時及び終了時の総合的評価</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>			栄養補給に関する事項		栄養補給方法 □ 経口・□ 経腸(□ 経口・□ 経鼻・□ 胃瘻・□ 腸瘻)・□ 静脈		栄養補給量	嚥下調整食の必要性	・エネルギー kcal	□ なし □ あり(学会分類コード:)	・たんぱく質 g	食事内容	・水分 ml	留意事項	栄養補助食品の使用		□ 無・□ 有()		栄養食事相談に関する事項		入院時栄養食事指導の必要性	□ なし □ あり(内容	実施予定日:	月 日	栄養食事相談の必要性	□ なし □ あり(内容	実施予定日:	月 日	退院時の指導の必要性	□ なし □ あり(内容	実施予定日:	月 日	値 者		その他栄養管理上解決すべき課題に関する事項		<table border="1"> <tr> <td>栄養状態の再評価の時期</td> <td>実施予定日: 月 日</td> </tr> <tr> <td colspan="2">退院時及び終了時の総合的評価</td> </tr> </table>		栄養状態の再評価の時期	実施予定日: 月 日	退院時及び終了時の総合的評価	
栄養補給に関する事項																																										
栄養補給方法 □ 経口・□ 経腸(□ 経口・□ 経鼻・□ 胃瘻・□ 腸瘻)・□ 静脈																																										
栄養補給量	嚥下調整食の必要性																																									
・エネルギー kcal	□ なし □ あり(学会分類コード:)																																									
・たんぱく質 g	食事内容																																									
・水分 ml	留意事項																																									
栄養補助食品の使用																																										
□ 無・□ 有()																																										
栄養食事相談に関する事項																																										
入院時栄養食事指導の必要性	□ なし □ あり(内容																																									
実施予定日:	月 日																																									
栄養食事相談の必要性	□ なし □ あり(内容																																									
実施予定日:	月 日																																									
退院時の指導の必要性	□ なし □ あり(内容																																									
実施予定日:	月 日																																									
値 者																																										
その他栄養管理上解決すべき課題に関する事項																																										
<table border="1"> <tr> <td>栄養状態の再評価の時期</td> <td>実施予定日: 月 日</td> </tr> <tr> <td colspan="2">退院時及び終了時の総合的評価</td> </tr> </table>		栄養状態の再評価の時期	実施予定日: 月 日	退院時及び終了時の総合的評価																																						
栄養状態の再評価の時期	実施予定日: 月 日																																									
退院時及び終了時の総合的評価																																										



【入院料通則(栄養管理体制の基準)】

問 23

栄養管理体制の基準について、「あらかじめ栄養管理手順(標準的な栄養スクリーニングを含む栄養状態の評価、栄養管理計画、退院時を含む定期的な評価等)を作成すること。」とされているが、「標準的な栄養スクリーニングを含む栄養状態の評価」の、具体的な内容如何。

(答)

GLIM 基準による栄養状態の評価を位置づけることが望ましいが、**GLIM 基準を参考にしつつ、各医療機関の機能や患者特性等に応じて、標準的な手法を栄養管理手順に位置づけた場合も含まれる。**ただし、血中アルブミン値のみで栄養状態の評価を行うことは標準的な手法に含まれないため、複合的な栄養指標を用いた評価を位置づけること。

最後に

- こちらの解説で示した、栄養管理手順例、栄養管理計画書の様式例などは日本栄養士会ホームページからダウンロード可能です。本様式例などを参照にしつつ、各医療機関の特徴に応じてご活用ください。
- また日本栄養士会ホームページでは、各医療機関で使用している栄養管理手順や栄養管理計画書の記載例なども、医療機関の機能種別に掲示しております。こちらも合わせてご参照ください。